

温もりと信頼と

人間健康学部長・人間健康研究科長 所 めぐみ

三浦敏弘先生は、明治鍼灸短期大学（1980年に明治鍼灸大学に昇格）専任講師を経て、1997年4月に関西大学文学部助教授に着任されました。2001年4月に文学部教授に昇任された後、2010年4月の人間健康学部開設と同時に本学部に移籍されました。学部では、「人間行動論」や実習系科目である「スポーツ方法実習Ⅴ（武道2）」「健康・スポーツ科学実習c（キャンプ）」を含む数多くの科目を担当していただきました。

1977年3月関西大学社会学部社会学科マス・コミュニケーション学専攻を卒業した先生は、同年4月1日に大阪体育大学体育学部体育学科に学士入学され、1995年には佛教大学にて修士論文「高齢化社会に対する青少年の健康観に関する一考察－大学生の健康意識と生涯体育との関連性－」により「修士（教育学）」を取得し、以降も一貫して生涯体育に関して幅広い視点から研究活動に従事してこられました。著作（共著）が3冊、発表論文は50本以上にのぼり、また2003年～2004年に在外研究員としてアメリカ合衆国カリフォルニア州立大学フレズノ校キネシオロジー学部にて研究活動に従事した他、国際生理人類学会（1998年クロアチア）、アジア環太平洋・運動・スポーツ科学会議（2001年韓国）、国際生理人類学会（2002年イギリス）など国際的な学会でも発表を行っておられます。

先生は日本体育・スポーツ・健康学会、日本スポーツ社会学会、日本武道学会などに所属し精力的に学会活動を行っておられ、特に身体運動文化学会では関西支部理事長を務めるなど中心的に活躍されました。また2017年3月には大会会長として大阪体育学会第55回大会を成功に導いたことから、研究者コミュニティーに大きな信頼を寄せられていることが伺われます。

また関西大学柔道部顧問として10年以上の委嘱を受けておられ、ご自身も講道館柔道六段として師範の資格を所持され、関西学生柔道連盟理事、京都府学生柔道連盟理事、京都府柔道連盟幹事、京都府亀岡市柔道連盟副理事長、京都府亀岡市柔道連盟参与などを歴任し大学や地域における柔道の振興に寄与しておられます。

先生は、学部開設前に人間健康学部教授会準備委員会委員を務められ、学部開設後も学生相談主事（2010年4月～2012年3月、2016年10月～2018年9月）、スポーツと健康コース長（2010年4月～2012年4月、2018年10月～現在）、また学校法人関西大学評議員（2012年10月～2016年9月）を務めるなど学部、大学、法人運営にも貢献されました。

先生が学生、教職員から愛されていたこと、頼りにされていたことは確かです。迷ったとき困ったときには先生を頼りにしている私たち。いかつい表情をされても先生からサポーター的なオーラを感じるの、なぜでしょう。ご退職なさってもぜひキャンパスにお越し頂き、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

